

2025 年度 編入学・社会人シニア・帰国生徒入学試験：小論文試験 模範解答例

問 1 要約問題の採点基準

模範解答例（参考例）

社会問題を研究する者が留意すべきことは自分が問うたこと、知りたいことを徹底的に調べ、証拠を挙げつつ筋道を立てて推論し、人を納得させる作業とする点である。社会問題に潜む因果連関を論理的に取り出し、最終的にいかなる価値の対立があるのかを明示するのも重要である。何が問題なのかを見いだし、どのように問いを立てるかということ、一つの学問領域に限定せず、人文学と社会科学の相互依存関係への認識も大切になる。

【採点基準】

- （１）社会問題を研究する上での留意として、自分で設定した問い、知りたいことに焦点をあて、証拠に基づき、筋道を立てた論理的な推論を行い、人々を納得させる作業としていくことに、注意していること。
- （２）社会問題に潜む因果連関の論理的な捉え方、最終的にどのような価値の対立があるのかを明示していくことへ、注意していること。
- （３）社会の中で、何が問題なのかを見つけて、一つの学問領域のみに限定せず、人間の感情とも関わる人文学と社会科学の相互依存の関係から把握することに、注意していること。

問 2 意見文の採点基準

【１】採点基準と配点

- （１）出題文の趣旨をふまえているか
- （２）解答文の論理構成は適切か
- （３）解答者自身の意見は明確か
- （４）解答文の文章表現は適切か

以上